

## 議事録

- ・会議名称：第4回朝霞地区訪問看護ステーション第4回連携グループの会
- ・開催日時：3月30日（木）
- ・開催時間：16：30～17：30
- ・開催方法：zoom 会議

### 【議題】

1. 「感染症・災害時対応協定書案について」
  2. 「管理者の押印について」
  3. 「同意書」
  4. 「患者選定のためのフローチャートについて」
  5. 「協力システム案について」
  6. 連携シートについて
  7. 令和5年度目標について
  8. 連携グループ間横のつながりについて
- ・参加ステーション管理者：19名 欠席管理者：8名（別紙参照）

## 内 容

1. 開会
2. 議題
  - 1) 「**感染症・災害時対応協定書案**について」 鈴木氏より説明 →承認された。  
協定書は、年1回更新5月1日より開始としたい。  
質問：訪問看護ステーション夢眠しき岡村氏より：組織の同意について、一旦保留するという指示があったが大丈夫か。基本的にグループ内で完結しているので協力するのは難しいと思う。  
回答：5月の開始迄に期間があるので組織よりの回答を待つ。
  - 2) **管理者の押印**について:棚原氏より説明  
5月始動とするために、4月中に KEY ステーション推進メンバーが、事業所を順に回る予定。
  - 3) **同意書**について 野田氏より説明  
フォーマットを活用しても既存のものを使用してもよい。
  - 4) **フローチャート**について 鈴木氏より説明  
患者選定の参考までに送付させていただいた。医療的ケア・ケアの必要度という点で患者選定のために参考としてほしい。
  - 5) **協力システム案**について 増島氏より説明  
資料に基づいて説明。
  - 6) **令和4年度5年度の目標**について 鈴木氏より説明  
令和4年度：令和4年度の目標は「協定書の確定」であり、達成できた。  
令和5年度：どのように連携を深めていくのか。どの様に顔が見える関係をつくっていったらよいのか。皆様の希望も入れていきたい。この後グループワークで意見をだしてほしい。

## 7) 連携シートの変更について 高田より説明

連携シートに認定・専門・特定看護護師という項目を追加している。

連携シートについては年1回更新を行う。

## 8) 連携訪問看護ステーショングループ横のつながりについて 野田氏より説明

メンバーで共有して使えるフォーマット、書式をつくるなど、横のつながり、連携を深めていきたい。

### 【グループワーク 15 分間】

#### 【発表】

##### ・朝霞グループ A

・協定書完成し、心強い。

・5 年度、事例検討・パンフレット等作っていきたい。

・医師との連携の取り方等、多職種とのかかわり方等、顔が見え、相談できる関係性を続けていきたい。

##### ・朝霞グループ B

・同意書のフォーマットについて、いつ渡したらよいか。→新規の契約時、一斉に事前にとるなどの方法

・協力システム案に行くまでに、患者の情報の整理など、ケアシートを作成していくことが重要

##### ・志木市グループ

・MCS のみでなく電話連絡が可能であれば進めやすい。

・協定書有難い

・目標について、横のつながりが大切、スキルアップが出来ていない状況、専門看護護師などの研修会・勉強会、ステーション化の人事交流などはどうか、宮城の震災の経験がある事業所から生の声の発信など学修会につなげていきたい。

##### ・和光市グループ

・精神の事業所が連携グループに入ったとしても、依頼があっても協力することは難しい。

・今後も横のつながりで顔の見られる関係性を大切にしていきたい。

##### ・新座市グループ

・協定書により、協力体制をとってもらうのはとてもありがたい、しかし、小さいステーションも多く協力の依頼が来た時にどこまで対応できるのかが不安である。

・東京都の利用者に対して協定書がどこまで有効なのかという質問があった。

・5 月始動について、同意をとるのが難しいということもあり、ステーション毎に開始時期については進めればいいのかと考えている。

・次年度（目標）について話す時間がなかった。

・新規で事業所に余裕がなく受けられない場合、つながりを利用して紹介できればいいという意見があった。

#### まとめ

・グループワークで出された意見を共有し、課題については、推進メンバーと協議し、議事録で配信していきたい。

・質問意見等なし。

閉会

文責) 高田

○第4回朝霞地区訪問看護ステーション連携の会で課題と考えられたことに対し、推進メンバー間で協議しましたので、ご確認ください。不明な点につきましては、推進メンバーが各々のステーションへ伺いました折、ご確認くださいようお願いいたします。

○第4回朝霞地区訪問看護ステーション連携の会課題について

日 時：令和5年4月5日・6日

場 所：地域包括ケア支援室（4月5日）zoom 会議（4月6日）

出席者：4月5日出席者：鈴木、野田、浅野、増島、高田

4月6日出席者：鈴木、棚原、廣田、高田

・訪問看護ステーションステップ白垣氏より：精神疾患の患者が多く、他ステーションと連携を取っていくことは難しいが、協定書を結ぶことに関して問題はない。

・訪問看護ステーション夢眠しき岡村氏より：組織の同意について、一旦保留するという指示があったが大丈夫か。基本的にグループ内で完結しているので協力するのは難しいと思う。



### 1. 上記課題に対して

・協定書を結ぶ目的は、第1条2項3項にあり、訪問看護ステーションの感染症・災害発生時に他ステーションが相互協力に関してということにある。しかし、感染症・災害発生時の情報を共有するというのも重要である。第1条の4項に情報を共有するという文言を追加する。

・第1条4項を下記とする。

「有事に備え日々の訪問看護業務、地域の動向について情報共有を図り連携の取れる協力体制として定める。」

・協定書案は、第4回連携の会で承認されているため、第4項については、この文書で通知する。

・第4項については、keyステーションが押印を受けるため各ステーションに伺った際、再度説明を行う。

### 2. 令和5年度目標について

・各々のkeyステーションを中心にグループワーク時、目標については多くの意見をいただいている。多くの意見は、横のつながりを大切にしたいという思いに集結している。事例検討、地区訪看で共有できるパンフレットの作成等も考えていきたいが、地区訪看連携の会で、「対面で会い、語ろう」ということをまずは、行っていきたい。その中で関係性の構築、互いのステーションの情報共有が出来るのではないだろうか。上記を踏まえ、今年度の目標を「ケアカフェの開催」とする。

3. 5月始動について、同意をとるのが難しいということもあり、ステーション毎に開始時期についてはまちまちで進めればいいのかと考えている。

・同意書についてはそれぞれのステーションの進め方でいいと考える。しかし、協定書の開始時

期については一斉とする。全てのステーション、全ての準備が揃わなければ開始できないということではない。

#### 4. 東京都の利用者に対して協定書がどこまで有効なのか。

地区の訪問看護ステーションの連携であるということを考えると、地区外ということに難しさも感じるが、訪問看護ステーションに法的な距離範囲の制限はない。しかし、ステーションによっては距離の制限を設けているステーションもあり、地区外であるということで協力を要請出来ない訳ではなく各々のステーションの基準で判断をするということで良いと考えている。

#### 5. 協力システム案について

・協力システム案については連携の会では説明のみとなり、連携グループからの承認には至っていない。引きつづき検討し準備を整えていくことが必要である。

準備として

- 1) 連携シートについては、1年に1回の更新となるため、連携ステーションのシートの更新が必要。
- 2) 議事録を送付時に連携シートを添付資料とし送付する。
- 3) 協定書の押印を key ステーションが担当ステーションに伺った際に連携シートを回収する。

#### 協力システム案に対する課題

・ key ステーションが訪問等で不在時の対応について。(他 key ステーション又は事務局)

文責) 高田